

第4章 子どもの習い事・おけいこ事に関する 消費動向調査

<調査趣旨・目的>

浅田真央、石川遼を筆頭とする10代アスリートの活躍により、スポーツ系の習い事を始める子どもが増加し、子どものスポーツ参加に投資をする親が増えてきた。この現象は、従来の受験・教育費への投資ではなく、子どものスポーツ参加に対して、指導、用具の購入、旅費などの援助を行うリスクを冒しながらもハイリターンを期待する傾向とも考えられる。つまり、学習系の習い事とスポーツ系のおけいこ事が同等のレベルになりつつある証在でもあり、親の子どもに対する関与が年々強まるとともに、子どもに対する多額の投資も顕在化している。

そこで、本調査では、3都市および民間スポーツクラブに焦点を当て、それぞれの児童の習い事、おけいこ事に対する親の消費動向を報告する。

<調査対象>

6歳～12歳の子どもの保護者

<調査場所>

札幌市 東京都中央区 広島市
民間スポーツクラブ16店舗

<調査方法>

郵送法による質問紙調査

(各都市の小学校先生、または公的機関が行うスクールの担当者による質問紙の直接配布、子どもの保護者が解答後、郵送にて返信)

<調査期間>

2008年7月25日(金)に各都市へ質問紙を発送。

最終的に2008年10月31日(金)到着分を最終回収枚数として分析を実施

<質問紙配布数および回収数>

調査対象	配布枚数	回収数	回収率	有効回答数
札幌（公共スポーツ施設）	各 600	266	44.30%	246
東京都中央区（小学校）		422	70.30%	350
広島（公共スポーツ施設）		168	28.00%	166
民間スポーツ施設（教室参加者）	900	243	27.00%	208

<分析方法>

性別や都市，中学校受験の有無等を説明変数としたクロス集計を実施

- 1) 小学校（東京都中央区）・・・中学校受験予定の有無と性別を説明変数としたクロス集計
- 2) 公共スポーツ施設（札幌市・広島市）・・・性別を説明変数としたクロス集計
・・・地域を説明変数としたクロス集計
- 3) 民間スポーツ施設（教室参加者）・・・性別を説明変数としたクロス集計

<調査項目>

調査項目		回答方法
子どもの習い事、おけいこ事の現状	これまでに経験のある習い事、おけいこ事	選択肢 1～18 (複数回答)
	習い事、おけいこ事に通う日数	選択肢 1～7
	途中で習い事、おけいこ事を辞めた理由	選択肢 1～13 (複数回答)
子どもに対する保護者の消費動向	家計全体に占める支出金額の割合	選択肢 1～5
	習い事、おけいこ事の本額の負担感	選択肢 1～6
	子どもにかかる支出のための節約・貯蓄の有無	
	子どもに対する月謝と交通費等の月額支出	
	子どもに対する月額以外 (教材費・発表会等) にかかる年間支出	
子どもの習い事、おけいこ事に対する月謝の主な負担者	選択肢 1～5	
保護者の価値観	・子どもの海外研修や海外合宿の参加について ・勉強より遊びやスポーツ等の体験が大切だ ・ピアノや水泳などの能力を伸ばすには早い時期がいい ・他の子に劣らないぐらいの勉強はさせておきたい ・自分の支出を抑えても子どもの教育支出を優先させたい ・小学校の行事に毎回参加したい	選択肢 1～6 選択肢 1～6 6：非常にそう思う 5：そう思う 4：ややそう思う 3：あまりそう思わない 2：そう思わない 1：まったく思わない
子どもの主な属性	年 齢	記 述
	性 別	選択肢
	出生順位	記 述
	中学校受験の有無	選択肢 1～2
	中学校での運動部活動	選択肢 1～3
子どもに対する保護者の今後の意向	今後子どもにさせたい習い事、おけいこ事	選択肢 1～18 (複数回答)
保護者の主な属性	保護者のご年齢	選択肢 1～6
	最終学歴	
	職 業	選択肢 1～9
	母親のスポーツ経験	選択肢 1～5

※ 分析に用いた項目を記載

1. 小学校（東京都中央区）の調査結果概要

<概 要>

トピック 1. 中学受験をする予定の児童は、性別に関係なく習い事・おけいこ事に通う日数が多く、忙しい！！

中学受験をする予定の児童は、男子では「週4日」が最も多く27.3%、女子では「週5日」が最も多く28.1%であった。一方、中学受験をしない予定の男子は「週2日」が最も多く28.3%、女子では「週3日」が最も多く28.2%であった。

中学受験をする予定の男子では、「週4日以上」の習い事・おけいこ事に通う割合が63.6%、女子では66.0%と、全体の6割以上を示しており、受験をしない予定の児童との差がみられる。

トピック 2. 中学受験をする予定の児童は、受験・進学のための準備のために習い事・おけいこ事を辞める！！

中学受験をする予定の児童は性別に関係なく、「受験・進学のための準備」のために習い事・おけいこ事を辞める割合が高い。性別でみると男子では61.5%、女子では65.0%であった。一方、中学受験をしない予定の児童では、「子どもが嫌がった」が最も多く、男子では39.7%、女子では34.9%であった。

トピック 3. 中学受験をする予定の児童の保護者は、習い事・おけいこ事にかかる家計全体の支出適正を高く見積もっている！！

中学受験をする予定の児童の保護者は性別に関係なく「5～10%」を家計全体の支出適正であると見積もっている。性別では、男子で36.1%、女子では54.3%と女子においてその傾向が強い。一方、中学受験をしない予定の児童の保護者は、「3～5%」を家計全体の支出適正と見積もっている。

トピック 4. 中学受験をする予定の児童の保護者は、習い事・おけいこ事の金額に負担を感じている！！

児童の保護者は、中学受験をする予定の児童、しない児童に関わらず、習い事・おけいこ事の金額に「やや負担」を感じている。しかし、「負担」、「非常に負担」となるにつれて中学受験をする予定の児童の割合が、受験をしない予定の児童の割合に比べて高くなっており、中学受験をする予定の児童の保護者は、習い事・

おけいこ事の金額に負担を感じている傾向が窺える。

トピック 5. 中学受験をする予定の児童の保護者は、月謝と交通費等の月額支出額が多い！！

中学受験をする予定の児童の保護者は、性別に関係なく月謝と交通費等を月額支出を「4万円以上」としている。性別では、男子で73.8%、女子では74.4%とほぼ同じである。一方、中学受験をしない予定の児童の保護者は、月謝と交通費等を月額支出を「1万円～2万円未満」としており、中学受験をする予定の児童としない予定の児童で大きな差がみられる。

トピック 6. 中学受験をする予定の児童の保護者は、月謝以外にかかる年間支出が多く、女子においてその傾向が強い！！

中学受験をする予定の児童の保護者は、月謝以外にかかる年間支出に「10万円以上」を費やしているものの、男子においては、「～2万円未満」(38.5%)と「10万円以上」(32.0%)に2分される結果となった。女子においては半数が「10万円以上」を費やしている。一方、中学受験をしない予定の児童の保護者は、月謝以外にかかる年間支出を「2万円未満」としている。

トピック 7. 保護者は自分の支出を抑えても子どもの教育支出を優先させたいとは思っていない！！

「自分の支出を抑えても子どもの教育支出を優先させたい」という児童の保護者の割合は少なく、中学受験をする予定、しない予定にかかわらず、自分の支出を抑えても子どもの教育支出を優先させたいとは思っていない。その中で、中学受験をする予定の児童の保護者では「そう思わない」という割合が多く、男子で44.3%、女子で43.8%を占めている。一方、中学受験をしない予定の児童の保護者では、「あまりそう思わない」という割合が多く、男子では44.8%、女子では39.5%となっている。

トピック 8. 中学受験をする予定の児童の保護者は、高学歴である！！

中学受験をする予定の児童の保護者の最終学歴は、「大学」が最も多く、男子では54.7%、女子では55.4%と、ともに半数を超えている。一方で、中学受験をしない予定の児童の保護者の最終学歴は、「高校」、「専門学校」が主となっている。

2. 公共スポーツ施設（地域別）の調査結果概要

<概 要>

トピック 1. 海外研修や海外合宿の参加の意向は地域によってわずか異なる！！

海外研修や海外合宿の参加について、札幌市では「多分参加させない」という保護者の割合が41.7%と最も多い。一方で、広島市では「多分参加させる」という保護者の割合が45.7%と最も多く、違いがみられる。

トピック 2. 保護者は自分の支出を抑えても子どもの教育支出を優先させたいとは思っていない！！

「自分の支出を抑えても子どもの教育支出を優先させたい」という児童の保護者の割合は少なく、地域別にかかわらず、自分の支出を抑えても子どもの教育支出を優先させたいとは思っていない。札幌市では75.5%、広島市では84.1%が子どもの教育支出を優先させることにネガティブである。

トピック 3. 中学受験をする予定の児童は地域で異なる！！

「中学受験をする予定の児童」は、札幌市では6.1%と少ないのに対して、広島市では30.1%と札幌市との差がみられる。

トピック 4. 地域によって保護者の最終学歴は異なる！！

保護者の最終学歴について、札幌市では「高校」が31.8%と最も多いのに対して、広島市では「大学」が43.2%と最も多く、札幌市との差がみられる。

3. 公共スポーツ施設（性別）の調査結果概要

<概 要>

トピック 1. 習い事・おけいこ事に通っている日数は性別によってわずか異なる！！

習い事・おけいこ事に通っている日数について、男子では「週2日」が最も多く28.6%、次いで、「週3日」が25.6%となっている。一方、女子では「週3日」が最も多く28.8%、次いで、「週2日」が25.4%となっており、性別によってわずかに傾向が異なっている。

トピック 2. 「ピアノや水泳などの能力を伸ばすには早い時期がいい」とは思わない保護者が多い！！

性別にかかわらず、「ピアノや水泳などの能力を伸ばすには早い時期がいい」という児童の保護者の割合は少ない。特に女子では「そうは思わない」の割合が最も高く 33.7%であった。一方、男子では「あまりそうは思わない」の割合が最も高く 36.1%であった。全体を通じて約 8 割がネガティブな傾向を示している。

トピック 3. 今後させたい習い事・おけいこ事は性別によって異なる！！

今後させたい習い事・おけいこ事は、男子では「両方」が最も多く 43.1%であった。一方、女子では「学・芸術系のみ」が 55.5%と最も多く、今現在継続中のスポーツ活動の他に「学・芸術系のみ」の習い事・おけいこ事をさせる、または、「学・芸術系のみ」に専念する可能性があることが垣間みえる。

4. 民間スポーツクラブ（性別）の調査結果概要

<概 要>

トピック 1. 習い事・おけいこ事に通っている日数は性別によってわずかに異なる！！

習い事・おけいこ事に通っている日数について、男子では「週 3 日」が最も多く 26.0%，次いで、「週 4 日」が 22.8%となっている。一方、女子では「週 2 日」が最も多く 25.3%，次いで、「週 4 日」が 22.9%となっており、性別によってわずかに傾向が異なる。

トピック 2. 習い事・おけいこ事の負担感は、性別によってわずかに異なる！！

習い事・おけいこ事の負担感について、男子の保護者は「やや負担」が最も多く 38.7%，次いで「あまり負担ではない」が 29.0%となっている。一方、女子の保護者は「あまり負担ではない」が最も多く 31.3%，次いで 27.7%となっており、性別によってわずかに傾向が異なる。

トピック 3. 海外研修や海外合宿の参加の意向は性別によってわずかに異なる！！

海外研修や海外合宿の参加について、男子の保護者では「多分参加させる」という保護者の割合が 41.8%と最も多く、次いで「多分参加させない」が 35.2%と

なっている。一方、女子の保護者では「多分参加させない」という保護者の割合が38.6%と最も多く、次いで「多分参加させる」が37.3%となっており、わずかに傾向が異なる。

トピック 4. 「勉強より遊びやスポーツ等の体験が大切だ」とは思わない保護者が多い！！

性別にかかわらず、「勉強より遊びやスポーツ等の体験が大切だ」という児童の保護者の割合は少ない。男子では「そう思わない」が41.4%と最も多く、次いで「あまりそう思わない」が31.5%となっている。一方、女子では「あまりそう思わない」の割合が最も高く43.4%、次いで「そう思わない」が30.1%となっており、全体を通じても性別に関係なく約8割がネガティブな傾向を示している。

トピック 5. 「ピアノや水泳などの能力を伸ばすには早い時期がいい」とは思わない保護者が多い！！

性別にかかわらず、「ピアノや水泳などの能力を伸ばすには早い時期がいい」という児童の保護者の割合は少ない。男子では「そう思わない」と「あまりそう思わない」の割合がそれぞれ約33%となっている。一方、女子では「あまりそう思わない」の割合が37.3%と最も高く、全体を通じても男子で約8割、女子で約9割がネガティブな傾向を示している。

トピック 6. 「自分の支出を抑えても子どもの教育支出を優先させたい」とは思わない保護者が多い！！

性別にかかわらず、「自分の支出を抑えても子どもの教育支出を優先させたい」という児童の保護者の割合は少ない。男子では「あまりそう思わない」の割合が39.5%と最も高く、次いで「そう思わない」が29.8%となっている。一方、女子では「思わない」の割合が36.1%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が28.9%となっており、全体を通じても性別に関係なく約8割がネガティブな傾向を示している。